

一般質問通告書

受領日時 令和5年11月30日 午前11時55分

8番 氏名 畑澤洋子

質問項目	質問の要旨
1 アーバンベア元年からの獣害対策強化について	(1) 今年の町の人的被害状況と、町民・職員の狩猟免許登録者数は。免許取得にかかる経費や猟銃購入にかかる助成額は県内自治体と比較してみてもどうか。 (2) 耕作放棄地の栗・柿などの早期摘み取りなど支援の必要な地域が沢山見られる。町が巡回指導・摘み取り作業の人的派遣など支援が必要ではないか。
2 内川川治水対策工事完成までの湯ノ又橋のゴミ対策について	(1) 内川川治水対策は後世に遺恨を残さず禍根を絶つ話し合いを、何度も集まり全員の意見を聞き被災者同士が理解し合い同意しながら結論を出していけるよう配慮してほしい。 (2) 湯ノ又橋の垂れ下がった水管橋にゴミが集積され壁となり県道上流側の住宅に水害が発生したことは、民家の被害状況が物語っている。河川移設工事完了までの期間も同じ被害は起こらないと確信させてほしい被災者の心情を理解し町が「橋だけに関する意見を集約し対応する」ことも必要ではないか。
3 あったか五城目の財政支援について	(1) コロナ禍以降の商工業経営者や物価高騰にあえぐ町民は今回の財政支援に不満を持っている。これまで通りの運営では町民の理解を得ることは難しい。確実に集客できる対策が必要だ。町と現経営団体の話し合いで新たな経営改革を示してほしい。
4 不登校児の親への支援について	(1) 小中学校における不登校児の現況は。親に対してはどのような支援が行われているか。 (2) 登校拒否・不登校を考える全国ネットワークの中村みちよ代表理事は、「親に安心して相談できる場があり、フリースクールなどでの学習機会に対して公的な補助が受けられれば、親自身が自分を責め続ける不安を軽減できる。教育機会確保法には、学校以外での多様な学びを支援するよう明記されているが、こうした理念が周知されていない」と憂慮している。町では十分な対応をされているか。